

第3学年 国語科の実践

1 単元名 登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう
「まいごのかぎ」

2 単元目標

- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。
- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。

3 「ひびき合う三の丸の子どもたち」をめざすための指導の工夫

研究課題「解決したい問題を持ち、友だちとひびき合いながら学習する子どもの育成」
手だて…子どもの思いや願いを見とった単元構想と授業づくり
ブロックテーマ…追究する力、仲間と支えあう自分～自分の問題をとことん追究する姿、仲間と協働して追究する姿を目指して～

4 単元と指導について

児童が物語の学習をするのは、3年生では2回目である。前単元「春風をたどって」では、場面ごとの様子や登場人物の気持ちを想像し、音読を中心に学習してきた。

中学年では、低学年とは違って出来事や場面をつないで物語全体を捉える読み方が必要になってくる。この「まいごのかぎ」では、場面と場面のつながりを意識することで理解が深まっていくため、板書などを掲示し、振り返ることができるようにしながら学習を進めていきたい。また、最後の場面と他の場面を比べて読むことで、登場人物の気持ちや性格の変化を捉えることができるようにしていきたい。

この物語は、3年生の児童が楽しく読むことができる、ファンタジー作品である。不思議なことが多く起こり、「なぜだろう」「どうしてだろう」と、ワクワクしながら読むことができるだろう。それだけではなく、物語前半では起こった不思議な出来事を否定的にとらえているりいこが、最後には「よけいなことではなかったのかもしれない。」と、前向きに捉えることができるようになり、主人公の変化が分かる作品でもある。りいこの変化をとらえることができるよう、そのつぶやきや叙述に目を向けられるようにするとともに、自分の考えをもつことができるようにする時間も大切にしていきたい。

児童の言葉を大切に、児童主体の授業を展開するために、学習問題は児童から出た言葉で作るようにした。本時ではりいこがしたことはよけいだったか、よけいではなかったかについて話し合う。話し合いを通して、自分の考えが変容したり、反対に元の自分の考えに自信が持てたりする姿をひびき合いの姿とする。

5 単元構想

3年国語「まいごのかぎ」全10時間

単元目標

- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。
- ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。
- ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像している。
- ・積極的に登場人物の気持ちの変化を想像し、学習課題に沿って、物語の感想を書こうとしている。

まいごのかぎって どんなお話かな ①②

全文通読

感想の交流

子どもの言葉で
学習問題を作る。

主人公のりいこの性格
をおさえることで、本時
の話し合いに深まりが
出るようにする。

りいこの気持ちがわかる場所に線を引く

- ・「りいこ」という女の子が出てきたよ。
- ・不思議で変わったお話だったね。
- ・りいこがかぎを差したら、ベンチが歩き出したり、あじが羽ばたいたりしていたよ。
- ・りいこは「よけいなことばかりしてしまう」って落ち込んでいたよ。
- ・でも、最後は「うれしくなって」って書いてあるよ。気持ちが変わったのかな。
- ・りいこってどんな子なのかな。
- ・りいこはどんな気持ちだったんだろう。

りいこはどんな気持ちなのかな ③

話の背景の確認

- ・「ぱりっとしたシャツのような夏の風」
って書いてあるよ。夏のお話だね。
- ・学校の帰り道の出来事だね。

【思考・判断・表現】

- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。
- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像している。

【知識・技能】

- ・本文を読み、分からない言葉を見つけ出し、国語辞典で調べて語彙を増やしている。

- ・うつむきがち ・しょんぼりと ・うさぎまで、どこにもいなくなった気がしたのです。
- ・赤いランドセルだけが、歩いているように見えました。
- ・悲鳴をあげます。 ・後ずさりしながら言いました。 ・ひっくりかえりそうになりました。
- ・ためいきを一つついて、 ・あわててとびつき、 ・りいこは悲しくなりました。
- ・りいこはまよいました。 ・ほっとしたような、がっかりしたような
- ・目をかがやかせました。 ・かぎをぎゅっとにぎりしめて、立ちすくんでしまいました。
- ・目をぱちぱちしながら ・りいこもうれしくなって ・手をふりつづけていました。

1. うさぎを消すりいこ④	2. さくらの木⑤	3. 緑色のベンチ⑥	4. 魚の開き⑦	5. バスの時こく表⑧
<ul style="list-style-type: none"> ・「またよけいなことをしちゃったかな。」って言っているよ。 ・うさぎを消してしまっ、わるいことをしたと思っているね。 ・かぎを見つけて元気が出たんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらの木にかぎあながあって、びっくりしているよ。 ・どんぐりが落ちてきて驚いているね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチの手すりになががあるね。気になる。 ・ベンチが歩き出してひっくりかえりそうになったよ。 ・ベンチのかぎではなくてがっかりしているよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お魚にかぎあななんて変だな。 ・あじが海に帰ってしまっところだった。 ・よけいなことばかりしてしまっって悲しいなっって思っているよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの文字もかぎあなに 見えているよ。<u>またよけいなこと</u>かもしれない。 ・よけいなことはやめようっ て思っているね。 ・わくわくしている自分が嫌だっって言っているね。 ・<u>なんだかとても楽しそう</u>

動作化を行い、気持ちをとら
えやすくする。

- ・なんだかとても楽しそう。
- ・さくらの木も楽しかったかもしれないって書いてあるね。

りいこがしたことは、本当によけいなことだったのかな⑨(本時)

よけいなこと

- ・りいこが「よけいなことしちゃった」って言っていたよ。
- ・さくらの木からどんぐりが落ちてきたら困るよね。
- ・ベンチが動いてしまったらびっくりするよ。
- ・バスもくるくるしてしまっっているよ。

よけいなことではない

- ・さくらの木も楽しかったかもしれないよ。みんなと遊びたかっただよ。
- ・ベンチだったまにはねころびたいんだよ。
- ・あじも空をとびたいかもしれないよね。

- ・最初のりいこと、最後のりいこは変わっているのかな。
- ・だから「楽しかったかもしれない」って思えたんだよ。

【主体的に学習に取り組む態度】
 ・積極的に登場人物の気持ちの変化を想像し、学習課題に沿って、物語の感想を書こうとしている。

お話の感想を書こう。⑩

6 本時について

本時の目標

今までしてきたことが本当に「よけいなこと」だったかの話し合いを通して、りいこの気持ちの変化に気付くことができる。

学 習 活 動	教 師 の 支 援 ・ 評 価
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やっぱりよけいなことばかりしてしまう」 ・気づいていない </div> <div style="width: 60%;"> <p>さいしよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの気持ち ・みんなもすきに ・りいこのおかげですきなことができた </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 10%; text-align: center;"> <p>よけいではない</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 10%; text-align: center;"> <p>どちらでもない</p> </div> <div style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・めいわくなことだったから。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 10%; text-align: center;"> <p>よけい</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>まいごのかぎ</p> <p>りいこがしてきたことは本当によけいなことだったのかな</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>さいごい</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%; margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・りいこもうれしくなった ・よけいではないと分かった </div>	<p>・本時は本文全体に渡っての話合いになるため、学習問題を作るきっかけになった5の場面を音読する。</p> <p>・挿絵を準備し、場面の様子を思い出すことができるようにする。</p> <p>・考えを話すときには、何ページの何行目の叙述からそのように考えたかを話せるように促す。</p> <p>○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像している。【思考・判断・表現】</p> <p>・話し合いをして分かったことや、自分の考え、考えの変容をノートに書けるよう何を書けば良いか声掛けをする。</p>

7 実践を終えて

①単元をどのように作ってきたか

単元を通して、子どもの言葉で問いを作るようにしてきた。初発の感想で子どもから出てきた疑問や感想から「りいこはどんな気持ちかな」「りいこがしてきたことは本当によけいなことだったのかな」という問いを作り、話し合いをしてきた。

「りいこはどんな気持ちかな」では、場面ごとのりいこの気持ちの移り変わりを、動作化や感情曲線を用いてとらえられるようにした。

②子どもが解決したい問題になったか

本時の話し合いでは二項対立の話題であったため、自分の立場が明確になりやすく、子どもたちも話し合いに参加しやすかったのではないかと思います。その一方で、ファンタジー作品であるということが十分理解できていない子どもが本文から外れたところで議論をしてしまったり、話し合いが焦点化しなかったりといった場面もあった。

③子どもの変容

「りいこがしてきたことはよけいだったと思う」と考えていた子が、話し合いをする中で「みんなの意見を聞いて、やっぱりよけいなことではなかったのだと考えが変わった。」と話していた。一方で、さいごまで「よけいだった」と考える子もいた。

④成果と課題

成果

話し合いの素地が少しずつ整ってきた。みんなの方を見て話す、話す人を見て反応をしながら聴くことができるようになった。また「〇〇ページの〇行目を見てください。」「教科書に〇〇と書いてあります。」などと、叙述から意見を述べる姿も見られた。

課題

話し合いを焦点化することが課題である。今回「りいこの立場から見て、りいこがしてきたことは本当によけいなことだったのか」という視点がずれてしまい、本文から離れたことを話し合ってしまった子が見られた。話し合う際には視点を共通理解してからできるようにしていきたい。

